



# Xpansion Manager V2.0

## 取扱説明書

Ver.1.0

# はじめに

---

当社製品をご使用いただきありがとうございます。この説明書は EX-2/6/RR の設定データの管理を行うためのソフトウェア「XpansionManagerV2.0」のインストールと操作方法を説明するものです。

ご使用の前に一度、この説明書をご覧になり内容をご確認のうえご使用下さい。

## 使用許諾

---

- ・ 本許諾条件に同意する場合にのみ、Xpansion ManagerV2.0（以降、本ソフトウェアと呼ぶ）のインストール並びに使用を許諾します。
- ・ 本ソフトウェアは実行形式ファイル、ダイナミックリンクライブラリ、設定ファイル、サンプルデータファイルなどで構成されており、以上の全ておよび今後追加されるライブラリ等を含んだ状態を本ソフトウェアと呼びます。
- ・ 本ソフトウェアに関する著作権ならびに法律上の諸権利、ロゴマークや一部のアイコンのデザイン、本ソフトウェアに付属する全てのファイルについて、一切の権利は近藤科学株式会社にあります。
- ・ 本書ならびに本ソフトウェアは、弊社製品をご使用になることを条件として、フリーウェアとして配布いたします。また弊社製品を使用する場合において複製が認められます。
- ・ 本書ならびに本ソフトウェアは近藤科学株式会社に無断での販売、リース、貸与、および有償、無償を問わず不特定多数への公開をしてはいけません。逆アセンブル、逆コンパイル、ローカライズなどのリバースエンジニアリング行為やあらゆる改変を認めておりません。
- ・ 本書ならびに本ソフトウェアのインストール作業や使用した上での不具合やその結果について、または使用できなかったことについて、近藤科学株式会社は一切の責任を負いません。
- ・ 本書内の会社名、商品名に関しましては、それぞれの会社の登録商標または商標です。本書で使用されているイラストやロゴマークについても無断使用してはいけません。
- ・ 本製品は、日本国内で使用されることを前提にしております。海外での使用ならびに国外持ち出しに関しましては、関係諸法令に基づく認可または届出が必要になる場合がございます。
- ・ 書の内容や本ソフトウェアは、改良その他の理由により、予告無く変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

# 別途ご用意いただくもの

## • ICS USB アダプター HS (またはICS USB アダプター)

弊社製品と PC とのインターフェースとなる USB を使用するアダプターです。弊社製品をお取り扱いの販売店様もしくは弊社ウェブショップにてお買い求めいただけます。



## • パーソナルコンピューター

Windows7、Windows8、Windows8.1、Windows10 (32/64bit) が動作している USB1.1 もしくは 2.0 のポートを備えたパーソナルコンピューター (以下、PCと呼ぶ)。

※.NET Framework 3.0以降がインストールされている環境が必要です。

ご使用になるパーソナルコンピューターに、ICS USB アダプター HS のドライバーをインストールして ICS USB アダプター HS が使用できる状態にしておいて下さい。(ドライバーのインストールについては、ICS USB アダプター HS のマニュアルをご参照下さい。)

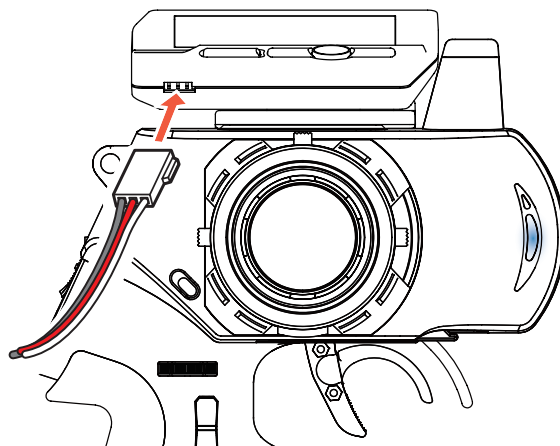
Windows Vista以前のPC (Vista、XP、2000、MEなど) では本ソフトウェアは使用不能です。  
お電話やEメールでのお問い合わせにもお答えいたしかねます。

# Xpansion本体との接続

Xpansion本体との接続は、ICS USBアダプター HS に付属のケーブルのうち「全線接続ケーブル」を使用します。これは、黒、赤、白の3本とも結線されているケーブルです。これ以外のケーブルでは正常に動作しませんのでご注意ください。

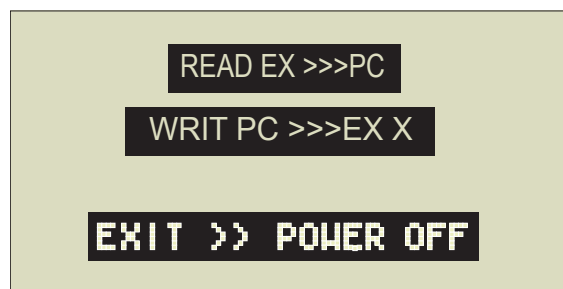
Xpansion本体の通信ポートとパソコンに接続したICS USB アダプター HS を全線接続ケーブル（黒、赤、白）で接続します。

※EX-2/6の電源はONしません。



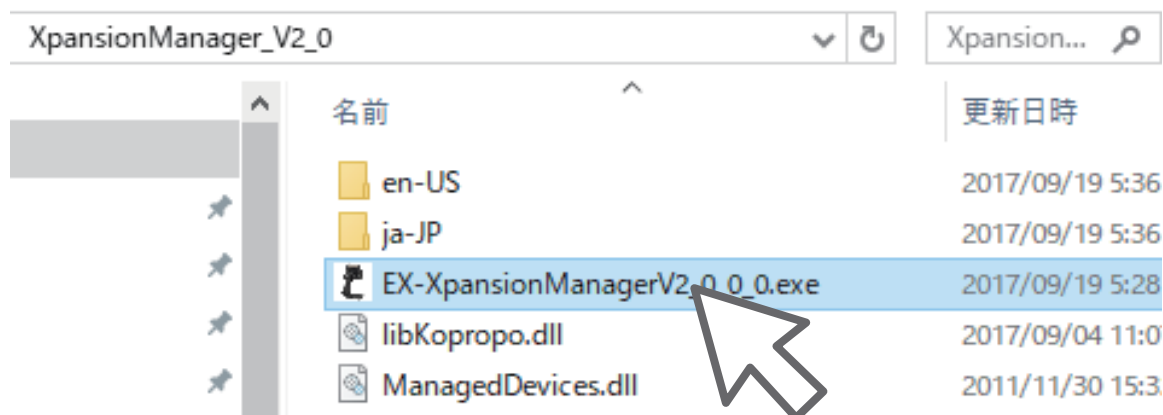
XpansionのLCDに右図のICS通信モードが表示され、これ以外の操作は一切できなくなります。

ICS通信モードを終了する場合は、接続ケーブルを取り外します。



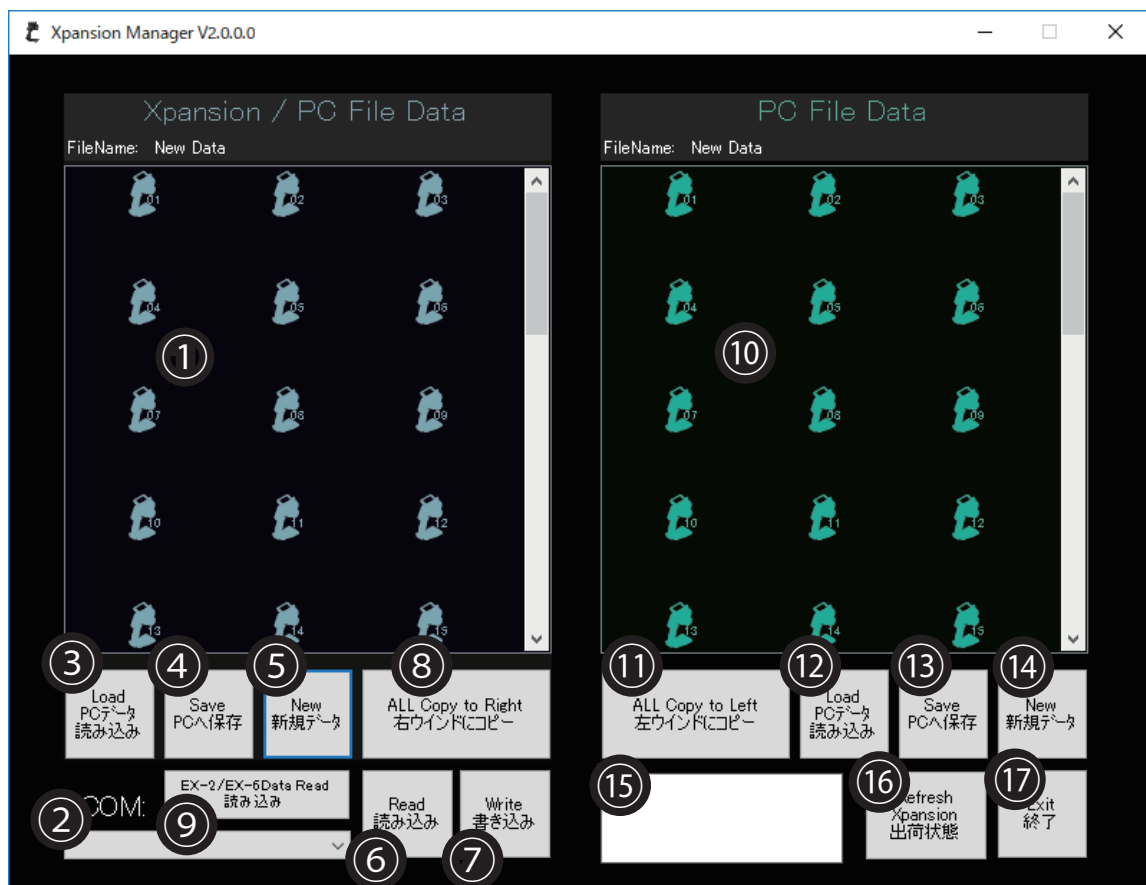
## ソフトウェアの起動

ソフトウェアをダウンロードされた場合には、まず圧縮ファイルを解凍してアクセス出来る状態にしてください。解凍されたファイルの一つ、Ex-XpansionManagerV2\_0\_0\_0.exeをダブルクリックして実行します。



# 操作説明

ホーム画面 ソフトウェアを起動すると最初に表示される画面です。



## 1/ 左データウィンドウ

Xpansion本体から読み込んだデータを表示させるために使用します。

## 2/ COM

Xpansion本体との通信に使用するCOMポートを指定します。

## 3/ Load(PCデータ読み込み)

左データウィンドウにPC保存済みのデータを読み込みます。

## 4/ Save(PCへ保存)

左データウィンドウのデータをファイルに保存します。

## 5/ New(新規データ)

左データウィンドウのデータを初期化します。

## 6/ Read(読み込み)

接続したXpansion本体のデータを左データウィンドウに読み込みます。

## 7/ Write(書き込み)

左データウィンドウのデータを接続したXpansion本体に書き込みます。

## 8/ データコピー

左データウィンドウのデータ全てを右データウィンドウにコピーします。

## 9/ EX-2 / EX-6 Data Read (読み込み)

EX-2 / EX-6のXpansion (V1.07以前のもの) データをV2.0以降に引き継ぐ場合に使用します。

## 10/ 右データウィンドウ

ファイルから読み込んだデータを表示したり、データをコピーして新しいデータの組み合わせを作成するために使用します。

## 11/ データコピー

右データウィンドウのデータ全てを左データウィンドウにコピーします。

## 12/ Load(PCデータ読み込み)

右データウィンドウにファイルに保存しておいたデータを読み込みます。

## 13/ Save(PCへ保存)

右データウィンドウのデータをファイルに保存します。

## 14/ New(新規データ)

右データウィンドウのデータを初期化します。

## 15/ メッセージ

マウスポインタがボタンの上に乗ったときに、説明が表示されます。

## 16/ RefreshXpansion(出荷状態)

Xpansion本体のすべての設定を工場出荷状態に戻します。

※Xpansion本体のアップデートを行った後は、データ移動の前に必ずリフレッシュを行ってください。

## 17/ EXIT(終了)

Xpansion Managerソフトを終了します。

# 通信ポートの設定

ソフトウェア上でだけ操作を行う場合には、必要ありませんが、Xpansionを接続してデータの読み書きを行うためには、ICS USB アダプター HS をパソコンに接続する必要があります。

ICS USB アダプター HS がパソコンに正常に認識されていれば、ソフトウェア上の COM の設定項目にデバイス名として出てきますので選択します。デバイス名が出てこない場合は Windows のコントロールパネル内にあるデバイスマネージャより COM ポートを探し、対応した COM を選択してください。



※上の画像の（COM6）はPCの環境によって変わります。

# Xpansion 本体データの受信

ICSによりデータの送受信を行うことができます。

データの受信を行うためには、画面上の Read ボタンをクリックすることで通信が行われます。

最初に右の様な確認画面が表示されます。

現在のデータとは、左データウインドウに表示しているデータ内容を示しています。データの受信では、左データウインドウにデータ読みこまれますので、現在表示しているデータが上書きされて消えてしまいます。現在表示しているデータが必要な場合には、Save で保存しておくか、右データウインドウにコピーしておきます。

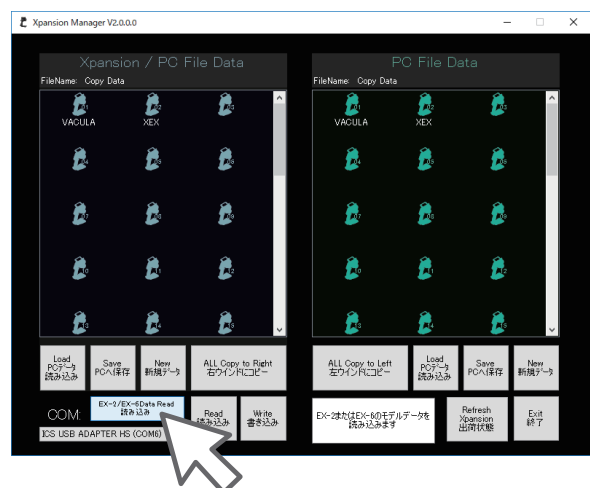
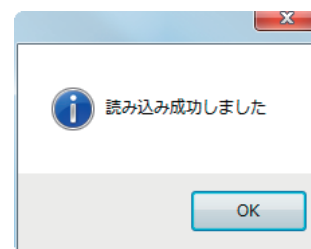
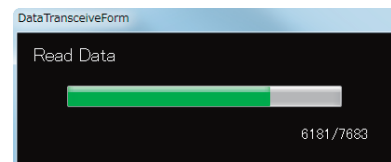
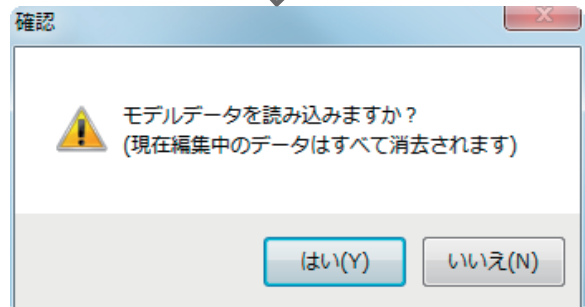
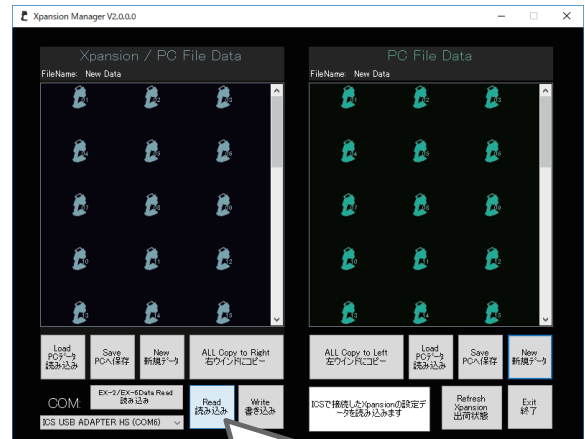
「はい」を選択するとデータの受信が始まり、右の様なダイアログが表示されます。

読込が終了すると右のダイアログボックスが表示されますので、「OK」を押してダイアログボックスを閉じてください。

## EX-2 / EX-6 のデータを引き継ぐ場合

EX-2 / EX-6 Xpansion (V1.07以前のもの) のデータを V2.0以降のXpansionに引き継ぐ場合に限り、右画像の EX-2 / EX-6 Data Read ボタンを使用します。

- ここで一度 Data Read したデータは、V1.07以前の Xpansion に書き戻すことはできません。
- V1.07以前のデータは、XpansionManagerV1.0 ソフトウェアで保存、データ加工可能です。



# Xpansion 本体へのデータ送信

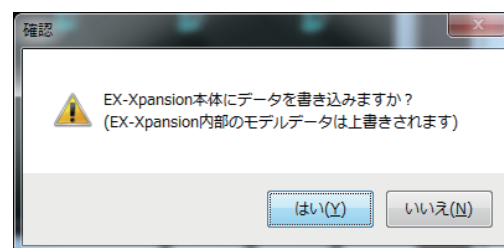
ICSによりデータの送受信を行うことができます。

データの送信を行うためには、画面上の Write ボタンをクリックすることで通信が行われます。

※Xpansion本体のアップデート後にデータ送信する場合は、送信前にRefresh Xpansion（出荷状態に戻す）を実施してください。



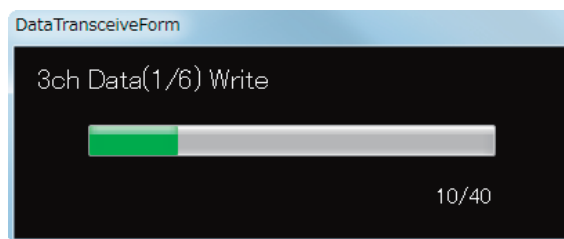
Write ボタンをクリックすると右のようなダイアログボックスが表示されます。左データウインドウに表示しているデータがXpansion本体に書き込まれます。**Xpansion本体内のデータは上書きされてしまいます**ので注意して下さい。



「はい」をクリックすると右のようなダイアログボックスが表示されて、データの送信を行います。

※読込に比べて時間がかかりますので予めご了承ください。

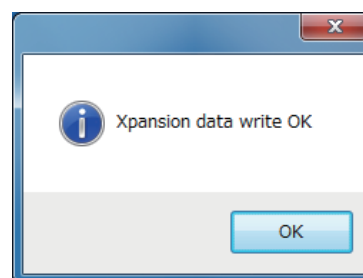
※EX-2/EX-6の Xpansion (V1.07以前のもの) に書き込むことはできません。XpansionManagerV1.0をご使用ください。



データの送信が終了すると右のダイアログボックスが表示されますので、「OK」を押してダイアログボックスを閉じてください。

Xpansion と接続して通信を行う場合には、前述した ICSUSB アダプター HS がパソコンに接続されている必要があります。

もし、書き込みに失敗した場合は、ICS USB アダプター HS や接続コードを確認し、再度書き込みなおしてください。



# データのウィンドウでの操作

データウィンドウでの操作は、左右のウィンドウで基本的な操作は共通です。下の説明では基本的な説明として左データウィンドウを例に説明しています。

- ・ Load (PCデータ読み込み)

パソコン内に保存したデータをデータウィンドウに呼び出します。ここで呼び出せるデータは、このソフトウェアで保存したデータ形式だけとなります。

- ・ Save (PCへ保存)

データウィンドウの内容をパソコン内に保存します。保存されるデータは、左右それぞれのデータウィンドウ内のデータだけです。左データウィンドウ内のデータ保存では右データウィンドウ内のデータは保存されません。また逆の場合も同様です。

- ・ New (新規データ)

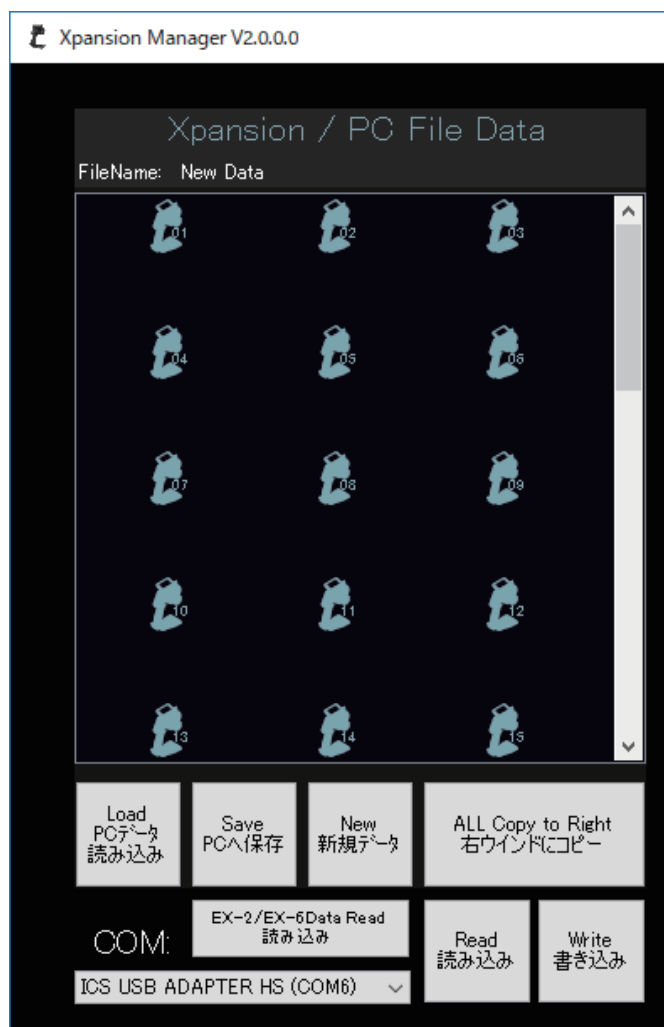
データウィンドウ内のデータを初期設定値に戻します。

新規にデータを作成する際に使用しますが、このデータをそのままXpansion本体に送信すると本体内のデータも初期化と同じデータとなってしまいますのでご注意ください。

- ・ All Copy to Right (右ウインドにコピー)

- ・ All Copy to Left (左データにコピー)

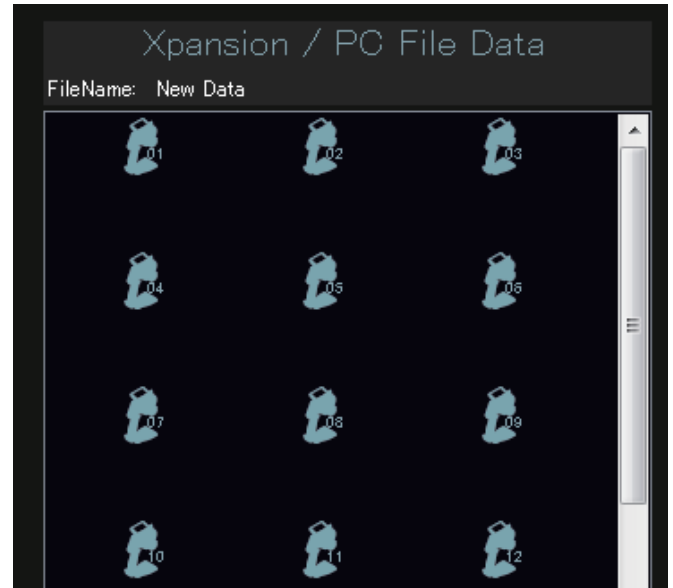
ウインドウ内に表示しているデータを逆のウインドウにコピーします。コピー先のデータが置き換わりますのでご注意ください。



# モデルデータのコピー

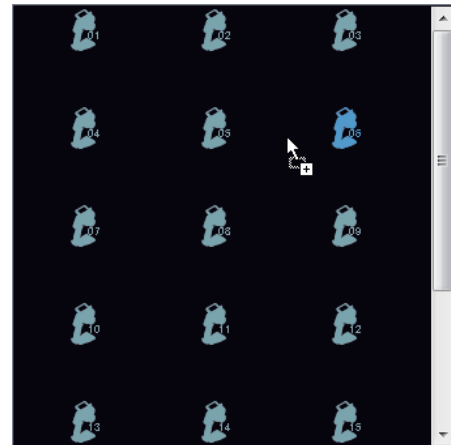
左右それぞれのデータウインドウには、送信機のアイコンが、40 個ずつ表示されています。このアイコン 1 個がひとつのモデルメモリを表します。

画面上には 40 個のデータが一度に表示されませんが、右のスクロールバーを操作することで全てのデータを見ることができます。

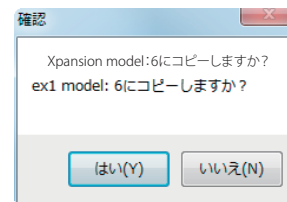


- ドラッグ&ドロップ

モデルデータのコピーを行うためには 2 つの方法があります。一つは、マウスでモデルデータをドラッグ&ドロップで他のモデルメモリにコピーする方法です。右の図では、まず、モデル 5 を左クリックしてそのままマウスを移動させてモデル 6 にコピーしようとしています。



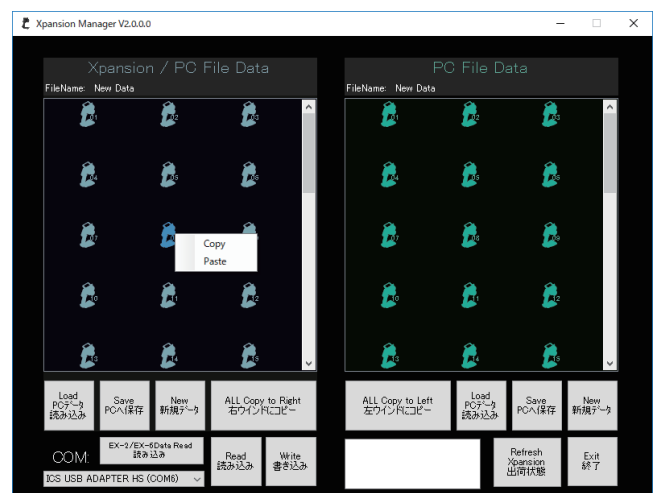
マウスのボタンを離すと下の確認ダイアログが表示されて「はい」をクリックすることでコピーが完了します。



- 右クリックメニュー

モデルコピーを行うもう一つの方法は右クリックによって表示されるメニューを使用する方法です。コピーしたいモデルを右クリックすると右の様なメニューが表示されます。ここで Copy を選択します。次にコピー先のモデルで同じく右クリックして同じメニューを表示させてから Paste を選択します。これでモデルコピーが完了します。

データのコピーは、同じデータウインドウの中だけではなく、左と右のデータウインドウ間でも行うことができます。

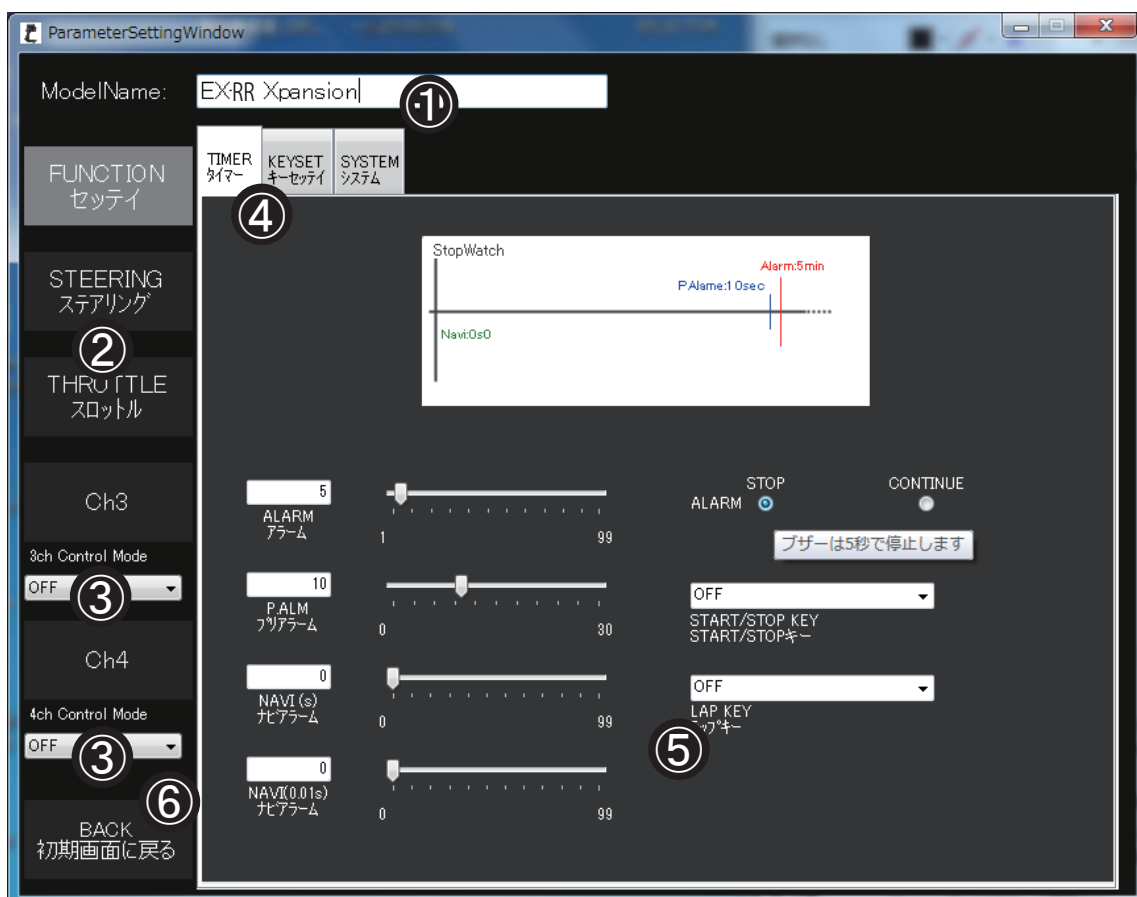


# モデルデータの編集

データウインドウ内の各モデルデータをダブルクリックすることで、それぞれのモデルメモリーごとの内容を見たり編集することができます。

図では、FUNCTION(設定)の中でのTIMER タブの項目を表示しています。

FUNCTION(設定)の他の項目に切り替えるには④のタブをクリックして切り替えます。



## 1/モデルネーム編集ボックス

モデルネームを編集することができます。

## 2/パラメータ選択ボタン

パラメータ設定画面で表示する項目を選択します。

## 3/コントロールモードボタン

3ch、4ch から出力するモードを選択します。

コントロールモードに選択されていないCh3/Ch4のパラメータ設定画面は変更不能です。

## 4/パラメータ設定タブ

パラメータ設定画面で表示する項目を選択します。

## 5/パラメータ設定画面

パラメータ選択ボタンおよびパラメータ選択タブで設定された項目に応じた設定できるパラメータを表示します。

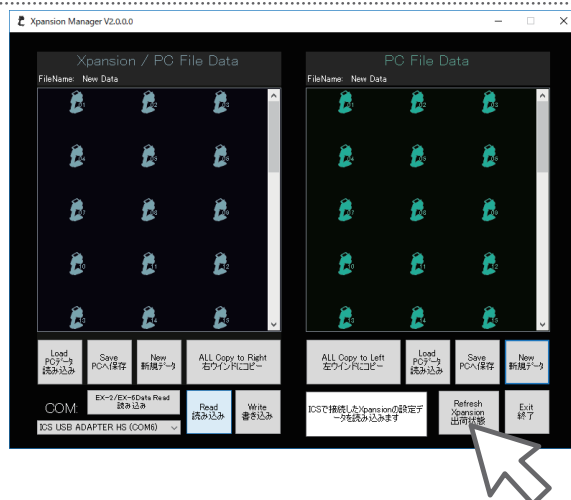
## 6/BACKボタン

モデルデータの編集を終了し、初期画面に戻ります。

# Xpansion本体の初期化

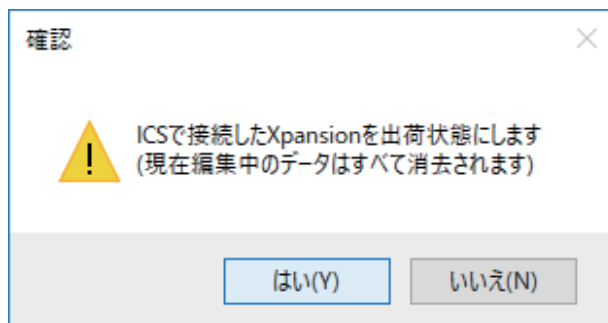
ICSによりデータの初期化を行うことができます。

データの受信を行うためには、画面上の Refresh Xpansion (出荷状態) ボタンをクリックすることで 初期化の通信が行われます。

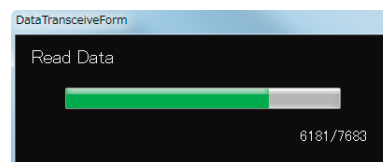


最初に右の様な確認画面が表示されます。

現在のデータとは、左データウインドウに表示しているデータ内容を示しています。初期化作業では、左データウインドウに初期データが読み込まれるので、現在表示しているデータが上書きされて消えてしまいます。現在表示しているデータが必要な場合には、**Save** で保存しておくか、右データウインドウにコピーしておきます。



「はい」を選択するとデータの送信 が始まり、右の様なダイアログが表示されます。



読みが終了すると右のダイアログが表示されますので「OK」を押してダイアログを閉じて下さい。

